

COOP-JOSO News Letter

【ものづくり、人づくり、地域づくり】 震災・原発事故からもうすぐ1年

2/10東海第2原発 再稼働中止と廃炉を求める署名 **10万筆**提出

知事は再び欠席

茨城県危機管理監「**東海第2原発が再稼働するかどうかは国がいろんな観点から算段されるものと思います。県は国が判断された段階で判断します**」

「もうこれ以上の被ばくや汚染はごめんです！」

東海原発で重大事故あるとき、県民の生命・健康・財産を守れますか？
第二のフクシマですか？知事さん！ 国の判断よりも先に
まず県民の声を聞いて！

原電は知事の主体性のなさを見て、6月燃料装荷8月再稼働に強気の姿勢



「日本で一番の人口密集地にある東海第2原発ですよ。しかも33年を経過した一番の老朽炉。万一の事故が起きたとき、30km圏内100万人(福島10倍)首都圏4千万人をどうやって避難させるのですか？県民・国民のいのちと健康、財産を守れますか？」
と県の危機管理監(真ん中で座っている方)に詰め寄る署名提出代表(左)。

東海原発廃炉署名 第三次決行！

3月末集約までに **常総生協として
廃炉署名1万筆を！**まだ署名されていない組合員さんへ！
ぜひ家族分から！

○県内自治体首長や議会も「廃炉・脱原発」を表明・決議続々！

追悼 山形無農薬ぶどう 小林精一さん

元気と夢をくれた精一さん

最期に会って話しかかったのに。

2月3日、無農薬ぶどうを頂いてきた小林精一さんが亡くなった。享年61歳。

1月末、おきたま興農舎の柳山さんから「亡くなってからでは・・・」と連絡を頂いた。「え！？」。

8日に会いに行くことにした。間に合わなかった。



震災・原発事故後、そろそろぶどうの出荷が始まる直前に精一さんと電話で「小林さんが実践してきた『粘土農法』が放射能に威力を発揮するよ。ぶどうにもきっと放射能出ないはずだよ」と話したのが最後だった。

いつも夢のある話しをして僕らをワクワクさせた。話だけでなくやってしまう。会う度に新しいことを手がけていて「今度は何？」と聞きたくなる。自由奔放な性格。はちゃめちゃすぎて呆れるほどに周りが明るくなる。

1年前の2月、大震災前の常総生協の業者会に来た時は、飲み明かしても翌朝ケロッと爽やかな顔をしていた。生命と水の話は熱を帯びていた。最後までつきあって、帰る直前になって「世話になった糟谷さんについて帰りたい」と言い出すので、糟谷さんを会場に呼んでしばらく話してからさよならした。自分ではわかっていただけか？

胃がん。お酒の飲み過ぎ。ほっぺを赤くしてよく飲んだ。

夏頃、奥さんに「酒がうまい」と漏らしたそう。無理矢理医者連れて行ったらそのまま入院。周囲には黙っていると。最後まで明るく振舞ったようだ。病室で奥さんと「あれもしたかったな～。これもしてみたかったな～」と明るくおしゃべりしていたとのこと。

おきたま興農舎の友人、柳山さん曰く

「いつも人を明るくする、あんなすごい人に出会っただけで幸せだった。最期まで動じないで逝くのもさすが。でもあんなやさしい人はいなかった」と。

「ほかのところへはほとんど顔を出さなくなった精一さんは、”常総の業者会、連絡来たか？常総には行くんだ！”と言っていたんだよ」と。「どうして？」「いろいろ苦しい時があっても、常総だけはずっと変わらずつきあってくれたからって」と。

おきたま興農舎代表、小林亮さん。お父さんが偉大だったから彼の中には「内なるライバルがいた」と。

お父さんは有機農業の世界では「粘土農法」で有名な学者肌の小林宝治さん。お父さんの講演会に集まった有機農

業者の前で「うちのバカ息子が」と言われながらも、その粘土農法をぶどう畑で実践したのは精一さんだった。内的屈折を逆に明るさと自由奔放さで包んでいた。土壌の改良を粘土鉱物でおこない、塩基置換容量・保肥力を高め、病気に強く農薬を使わない、富栄養でない「腐らないぶどう」を生産していた。年に一度、小林さんのぶどうを頂けるのは常総生協ほか数ヶ所だけ。去年のぶどうもほんとに美味しかった。

20年前に私たちも粘土農法を学んでいたのに、放射能汚染に直面したとき、セシウムをキレートする「2:1ケイ酸塩鉱物」を理解できた。生協でも放射能対策として再び職員の共通テキストとなった。施設にいるお父さん宝治さんには息子の死は知らされていない。

ここに一枚の写真がある。

10年前2002年10月11日、福島の山木屋牧場に4人が集まった。「いのち育む食をつくる生産者の会」の発足。



会長に山木屋牧場の高橋勝信さん、副会長にぶどうの小林精一

さんと微生物農法の会の長島さん、そして生協の大石。

呼びかけ主旨メモには「食はいのち・基本は自然、自然に生き方を学ぶ」とし、いのちの連環、複雑系と相似象、土づくり、発酵、微生物世界、ミネラルと酵素、生命の内的力、還元主義の排除・・・と並ぶ。ありきたりの業者会(生産者会)とは別に、真にいのち育む生産者のグループを作ろうと考えた。

夜更けまで議論した。精一さんも最初は静かだが、酒がすすむにつれ理論的にも全面展開となる。熱を帯びてくる。飲み明かした翌朝、皆で牧場のさわやかな秋の空気を吸い込んだ。

しかし2005年高橋さん急逝。2011年山木屋牧場は放射能に汚染され、そして小林さんも逝った。

長島さん曰く「残るは二人だな。でもな大石さん、本当の農業はこれからだよ。証明してからだよ、死ぬのは」。

かつて「天網恢々疎にして漏らさず」(老子)と泰然と語った長島さんにまた救われた。地上を放射能で汚染して平気にいる輩と、大地と自然に足をつけて生きる農業の姿を、天は如何に見ているか。遺志は受け継いだ。

精一さん、あの調子で、みんなの前にひょっこり現れて、ニコッと笑って、また話がはじまりそう。

「で、今度は何してるの？」

【2/10 茨城県知事宛 東海第2原発再稼働中止と廃炉の要請署名提出「第二次」】

廃炉を求める署名10万筆突破！

県内市町村の首長や議会からも「廃炉・脱原発」の表明・決議が続く
常総生協分署名は合計8,369筆を提出。3月末までに1万人を集めたい！

●再び知事欠席

署名は10万2,745筆と、10万筆を越えた。
しかし再び県知事は県民の前に出て来なかった。
知事の代理は、生協をも管轄する「生活環境部」。
その部署の「危機管理監」(部長)が署名を受け取る。



「これ以上の被ばくを子どもたちにさせてはいけません」「私はJCO臨界事故で被ばくし健康を損ないました」「この声を知事に伝えて下さいね」と声を掛けながら重く重なる署名を危機管理監に手渡す女性たち。

●署名を手にして「国の判断が出てから」

直後、危機管理監は、署名に込められた県民の思いを無視するかのように「東海第2を再稼働するかどうかはいろんな観点から国が考えているので、県の判断は国の判断が出てから、茨城県原子力審議会とか地元自治体の意見を踏まえて」と。

「あ！言い忘れた」とばかりに最後に「それに、今



日みなさまから頂いた要望も踏まえながら」と付け加えた。市民の顔色が変わった。

署名提出の代表をつとめる茨城大学名誉教授たちも司会の制止を振り切って、県の幹部に詰め寄る。

「国の判断があつてから県がやるのか？」

・・・白紙です

「では何のために県の安全委員会があるのか。県独自の考えをまとめるのではないのか。県の考えを国に上げるのではないのか」

・・・上げません。専門家で審議する安全委員会で原子炉施設の安全を確認すれば周辺の環境・安全につながると考えています。

「それが破綻したのが福島事故でしょう！」

「知事や県は県民の声をまじめに聞きなさい！」

さらなる署名を集めて県民・国民の声を知事に示

3/20(火・祝)「広瀬隆つくば講演会」

13:30～16:30 (開場13:00) つくば国際会議場 大ホール

「第二のフクシマ:東海原発で事故があれば今度こそ日本は滅亡」

【前売券のお申し込みは注文書でお受けします】

《一般》1,000円 注文No. 500270 (当日券1,300円)

《学生・障がい者》500円 注文No. 500271 (当日券700円)

※高校生以下は無料です。●必要な枚数を注文番号にご記入下さい。



【脱原発・くらし見直し委員会より】

ミニパンフレット第2弾「小川仙月さん講演会」編 出来あがりました！地域の人に配って下さい！



先週、2部ずつ配布させて頂きました。お友達にもお渡しいただけましたでしょうか？

サークルや子供会などでお渡し出来る場合は供給担当までお申し出下さい。



パンフのセットも脱原発委員メンバーはじめ、多くの組合員さんの協力作業で行いました

「原発いらない3.11福島県民大集会」 福島の人に集い、福島の人と共に

★守谷駅からバスがでます！

**原発いらない！
3・11福島県民大集会**
～安心して暮らせる福島をとりもどそう～

とき 2012 **3/11日**
ところ 開成山野球場 (郡山市)

スケジュール
12:30 開 場
13:00 オープニングコンサート(加藤登紀子 他)
14:00 福島県民大集会 (14:46 黙祷 県民のみなさんと)
15:15 郡山市内行進出発

※球場の放射線量が低くなっておりますので、妊婦の方、小さなお子様は参加をお控えください。

賛同人・賛同団体 **募集中**

主催／福島県民集会実行委員会
問い合わせ／実行委員会事務局 TEL0800-800-5702 FAX0800-800-5703
<http://fukushima-kenmin311.jp/>

【集合場所】 T X 守谷駅前

【集合時間】 8:00

※会場は放射線量が高い地域なので、子供の参加は見合わせるようお願いします。

●日本の54機の原発、どこで事故が起きてもおかしくない状況の中、東日本大震災により「たまたま」福島第一原発が事故により放射能を拡散させる事態となり、福島県と福島県民は避難、被ばくという困難な状況に置かれています。茨城県の東海第2原発は、「あわや」のところで事故を免れましたが、福島と同じ事態になっていたとしても少しも不思議ではありませんでした。

●福島の人たちの困難を共にし、二度と同じ悲劇が繰り返される事が無いよう、福島の人たちと連帯して「原発いらない」の活動を進めていくために、福島の人に行きましょう。

●そして、絶対にこの悲劇が風化され忘れられる事がないよう、福島の人と共に怒りの気持ちを日本全国に発信し続けていきましょう。

●●●3/11「原発いらない3.11福島県民大集会」に参加します●●●

コース名 _____ 班名 _____ お名前 _____ 人